

やけど

流水や氷で冷やしながら、やけどの範囲、状態をよく観察しましょう。
やけどの重症度判断はとても難しいので、判断がつかない場合は病院を受診してください。

● 次の症状を観察

- やけどの程度が軽く見えるが、広範囲のやけど(こどもの手のひらより広い)
- 範囲は狭いが、やけどの部分が白、もしくは黒くなっている

ひとつでもあてはまる

救急車を呼ぶ!

(P26 参照)

- 水ぶくれができ、痛みが強い
- 顔面・関節部分・手のひらのやけど

ひとつでもあてはまる

すぐに受診!

(P29 参照)

- やけどの範囲がこどもの手のひらより狭い
- 水ぶくれがない
- 痛みが強くない

すべてあてはまる

おうちで様子を見ましょう

症状が改善しない、悪化するようなら、すぐに受診

★広範囲の場合

- 衣服を着ていた場合、
脱がせずに衣服の上から冷やす。
- 流水、濡れタオル、氷などで冷やす。

広範囲に冷やしすぎると、低体温を引き起こすこともあります。そのような場合は、上から毛布などでくるみ、救急車を待ちましょう。



🏠 家庭での対応と注意点

しっかり冷やす

- 水、濡れタオル、氷などで30分以上冷やす。(市販の冷却シートは使用不可)
- 患部に直接勢いよく水をあてると水ぶくれがやぶれたり、長時間冷やしにくい。洗面器に水をためて冷やす。

民間療法はしない

- アロエを貼る、アンモニア(おしっこ)をかける、油をぬる等はしない。

小さい水ぶくれや触ると痛いとき

- 滅菌済みガーゼをあて、包帯でおおう。水ぶくれをやぶらないように注意する。

使い捨てカイロやぬるい湯たんぽ使用時の注意点

- 長時間同じ場所にあてていると低温やけどになることがあるので、十分注意して使用する。

けいれん

発熱

せき

下痢

おう吐

腹痛

発疹

けが・虫さされ

口や歯のけが

やけど

熱中症

くすりの上手な
飲ませ方

坐薬の使い方
くすりのQ&A

誤飲・誤食

異物の
吐かせ方

事故の予防

応急手当

救急車を
呼ぶとき

救急医療の
ご案内